

2021年2月期 第2四半期

決算説明資料

2020年10月13日

古野電気株式会社

注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

◆ 業績：減収減益

新型コロナウイルス感染症対策に伴う経済活動停滞などの影響により減収減益。ただし、第2四半期期間（6月から8月）中に回復基調に転換。

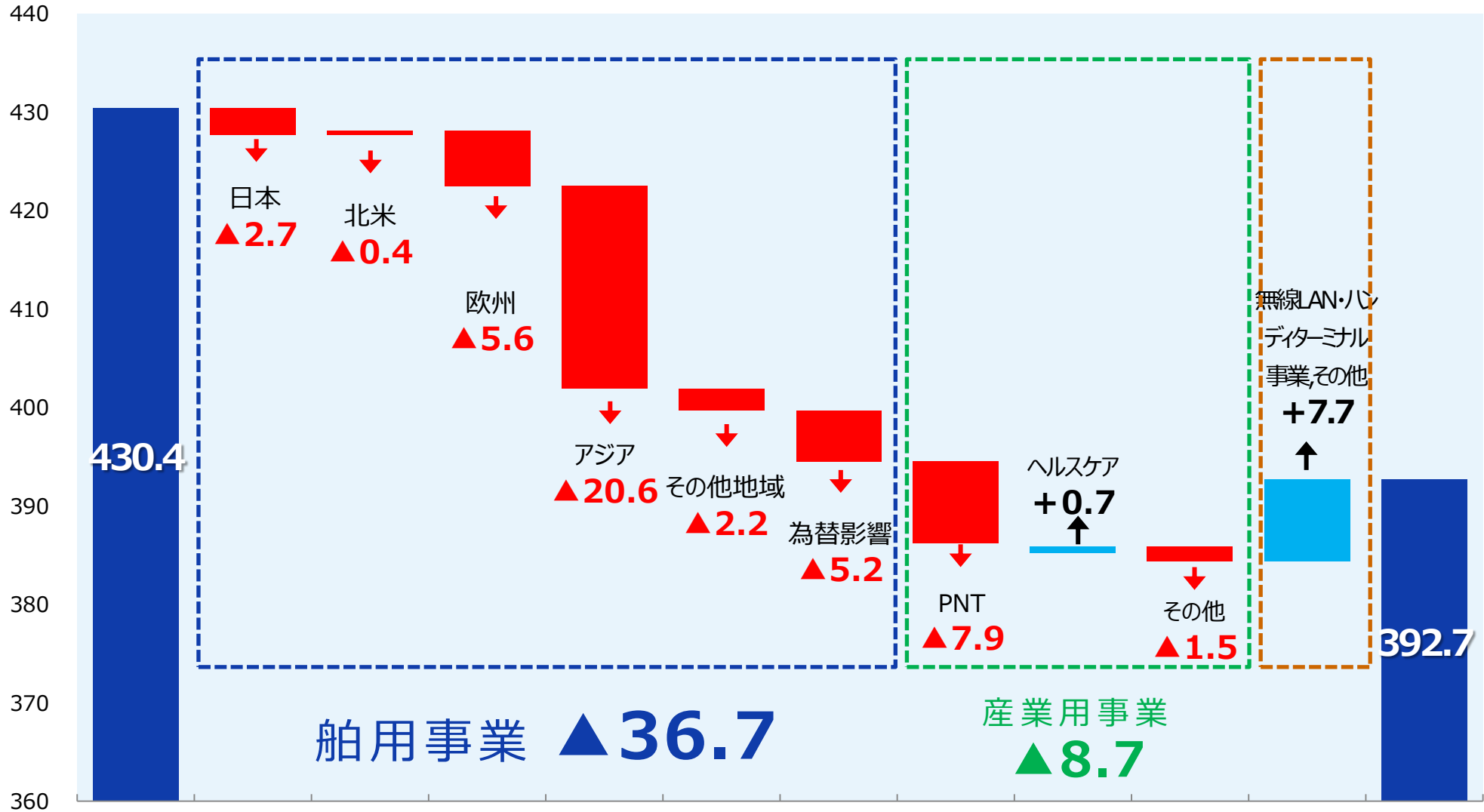
◆ 通期業績予想：上方修正

第2四半期実績および事業環境見通しを踏まえ、8月19日公表値から売上高および利益について上方修正。年間配当予想額は据え置き。

(単位：百万円)	2020年2月期 第2四半期累計	2021年2月期 第2四半期累計	増減比 (額)	増減比 (率)
売上高	43,040	39,274	▲3,765	▲8.7%
売上総利益 (対売上高比率)	15,557 (36.1%)	14,553 (37.1%)	▲1,004 (▲1.0)	▲6.5%
営業利益 (対売上高比率)	2,297 (5.3%)	1,667 (4.2%)	▲630 (▲1.1)	▲27.4%
経常利益 (対売上高比率)	2,430 (5.6%)	1,956 (5.0%)	▲474 (▲0.6)	▲19.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (対売上高比率)	2,188 (5.1%)	1,546 (3.9%)	▲642 (▲1.2)	▲29.3%
研究開発費 (対売上高比率)	2,234 (5.2%)	2,353 (6.0%)	+120 (+0.8)	+5.4%
設備投資額 (対売上高比率)	1,028 (2.4%)	1,467 (3.7%)	+439 (+1.3)	+42.7%
減価償却費 (対売上高比率)	1,562 (3.6%)	1,540 (3.9%)	▲22 (+0.3)	▲1.4%
(単位：円、期中平均レート)				
為替 (対ドル)	111	109	▲2	▲2.0%
為替 (対ユーロ)	124	120	▲5	▲3.7%

第2四半期累計 売上高の増減分析

(単位：億円)



2020年2月期
第2四半期累計

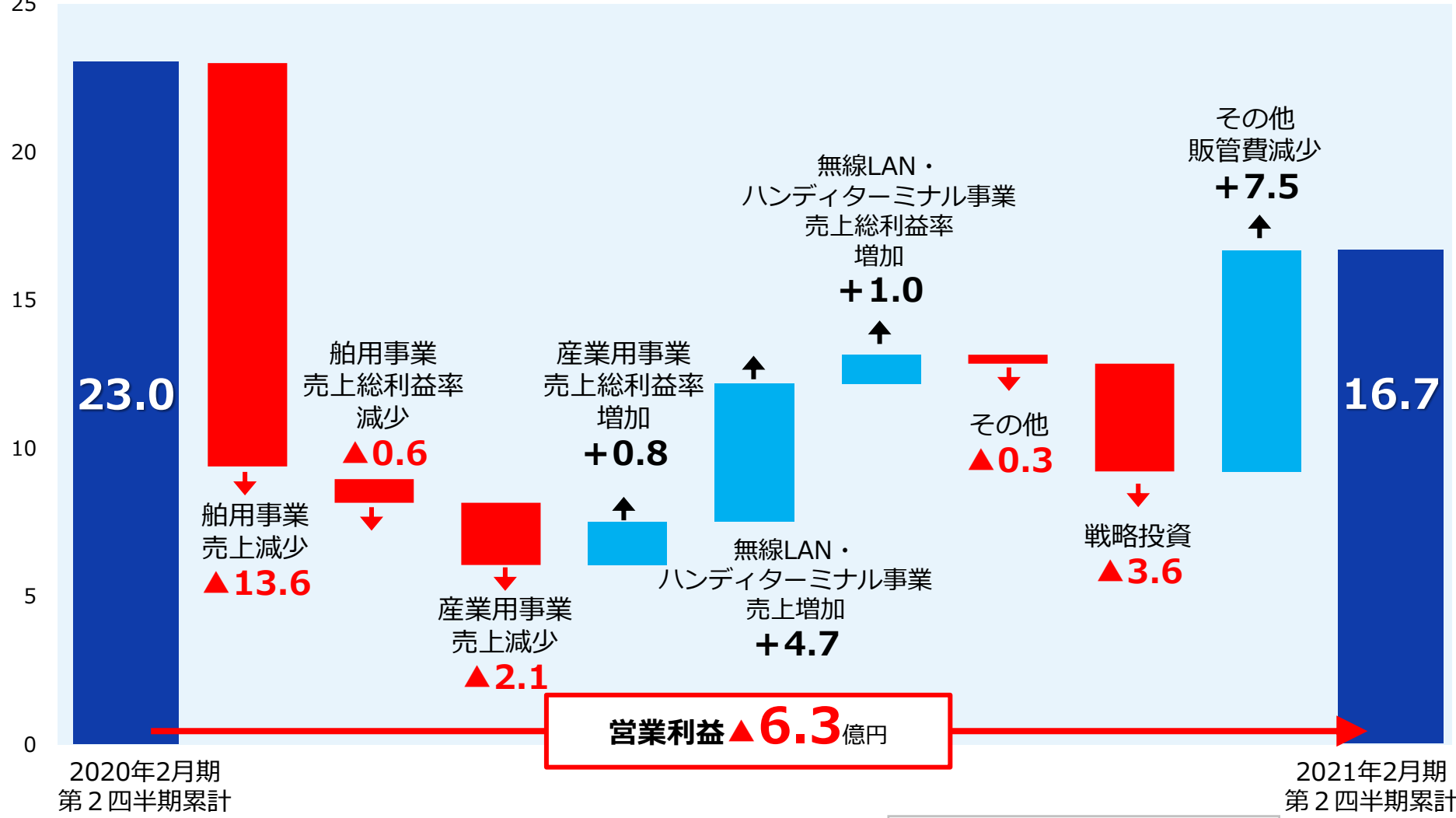
※ 為替感応度 (2020年2月期実績値)
【ドル】売上高1.1億円、営業利益0.5億円
【ユーロ】売上高1.6億円、営業利益0.7億円

2021年2月期
第2四半期累計

第2四半期累計 営業利益の増減分析

舶用事業の減収及び戦略投資等に伴う減益影響を
無線LAN・ハンディターミナル事業の増収及び販管費減少等により一定程度カバー

(単位：億円)
25



営業利益 ▲6.3 億円

※ 営業利益への為替影響は▲2.4億円

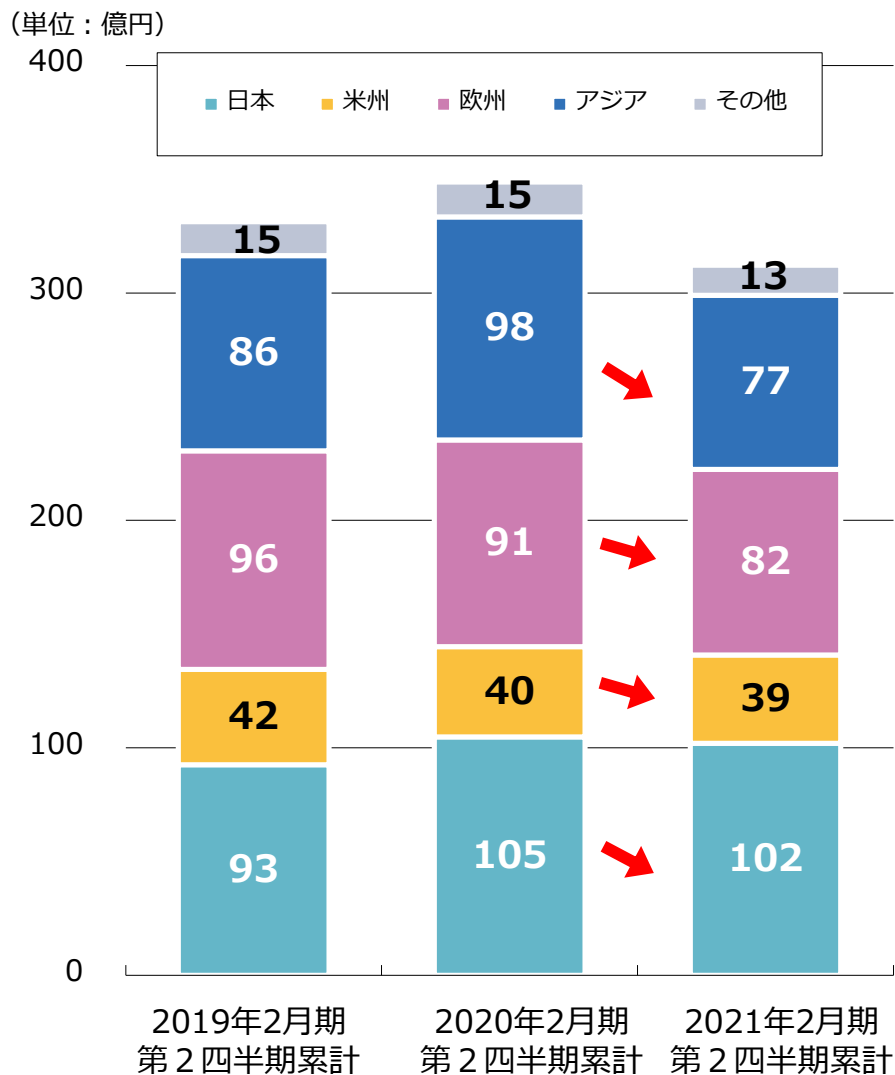
営業利益分析(同一会計期間における増減額比較)

FURUNO

舶用機器事業の減益幅縮小、無線LAN・ハンディターミナル事業が大幅増益

(単位：百万円)	第1四半期期間			第2四半期期間		
	2020年 2月期	2021年 2月期	増減額 (増減比率)	2020年 2月期	2021年 2月期	増減額 (増減比率)
舶用事業	626	50	▲576 (▲92.0%)	921	516	▲405 (▲43.9%)
産業用事業	144	56	▲88 (▲61.1%)	21	46	25 (119.0%)
無線LAN・ハンディ ターミナル事業	▲13	▲98	▲85 -	543	1,047	504 (92.8%)
その他	21	▲7	▲28	32	55	23
計	779	2	▲777 (▲99.7%)	1,518	1,665	147 (9.7%)

船用事業・連結売上高 (累計・地域別)



船用事業：

売上高 **312**億円 (前年同期比 **▲10.5%**)

セグメント利益 **5.7**億円 (**▲9.8**億円)

⇒ **主にアジア、欧州における減収に伴い減益**
ただし第2四半期期間中に回復基調に転換

◆ **日本：売上高 102**億円 (**▲2.6%**)

➢ 第2四半期期間中に回復基調に転換
昨年並みの水準維持

◆ **米州：売上高 39**億円 (**▲2.3%**)

➢ 新型コロナウイルス影響限定的
昨年並みの水準維持

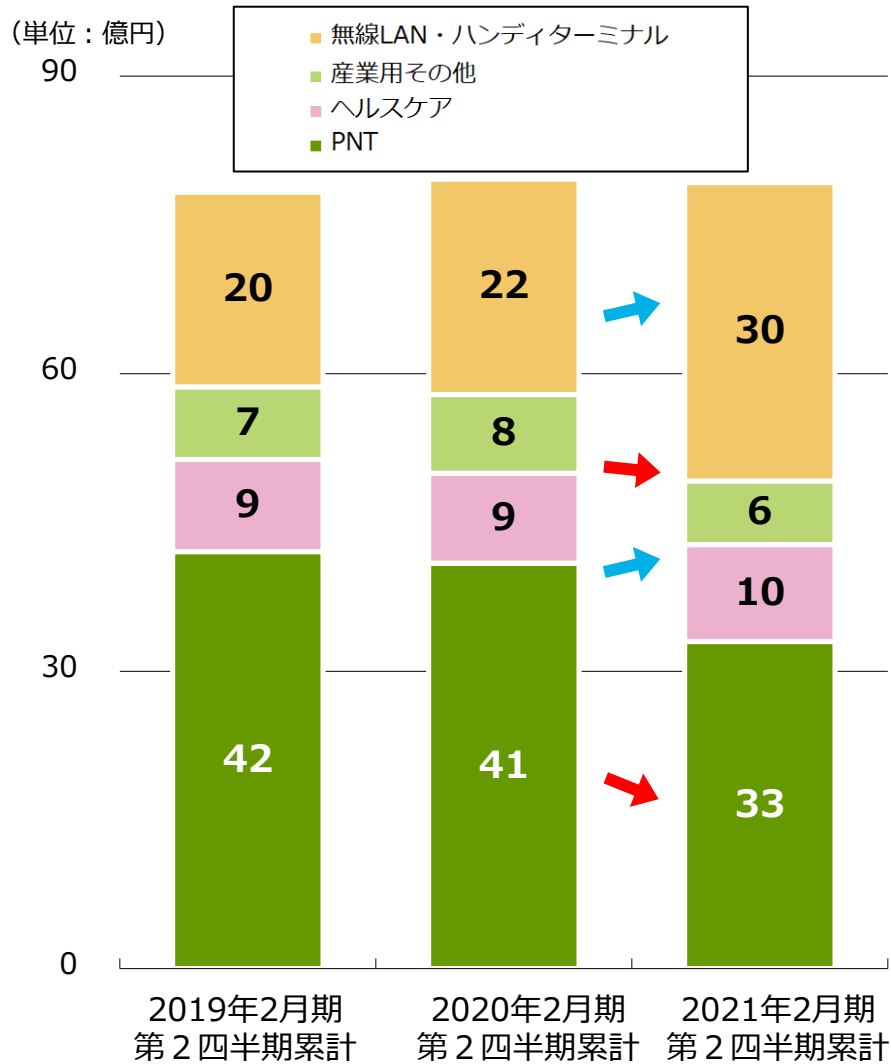
◆ **欧州：売上高 82**億円 (**▲10.2%**)

➢ 為替影響、新型コロナウイルス影響により減収
ただし第2四半期期間中に下げ止まり

◆ **アジア：売上高 77**億円 (**▲22.0%**)

➢ 主に第1四半期期間中における造船所の稼働減影響により減収
ただし第2四半期期間中に回復基調に転換

産業用事業、無線LAN・ハンディターミナル事業 連結売上高（累計・製品群別）



産業用事業：

売上高 **49億円**（前年同期比 **▲15.0%**）

セグメント利益 **1.0億円**（**▲0.6億円**）

⇒ **PNT事業は新型コロナウイルス影響による長距離移動自粛等によりETC車載器の売上高が減少**

⇒ **ヘルスケア事業は生化学自動分析装置の販売堅調**

◆ PNT事業：売上高 **33.0億円**（**▲19.3%**）

◆ ヘルスケア事業：売上高 **9.8億円**（**+7.7%**）

無線LAN・ハンディターミナル事業：

売上高 **30.1億円**（前年同期比 **+38.5%**）

セグメント利益 **9.5億円**（**+4.2億円**）

⇒ 『**GIGAスクール構想**』に伴い、**文教市場向け無線LANアクセスポイントの売上高が大幅増加**

⇒ **大幅増収に伴い大幅増益**

舶用事業

【商船】今後も弱含みでの推移。
【漁業】一時経済活動停滞の影響受けるも、既に概ね回復。
【プレジャー】世界的なプレジャーボート市場の活況が追い風。

産業用事業

【PNT】
ETC車載器は回復基調。時刻同期等その他市場は概ね堅調。
【ヘルスケア】新型コロナウイルス影響、特になし。
【防衛装備品】概ね計画通りに推移。

無線LAN・ ハンディターミナル事業

【無線LANアクセスポイント】
『GIGAスクール構想』需要により今期中は大幅需要増。
【ハンディターミナル】顧客によりばらつきあるが総じて低調。

第2四半期累計実績および第3四半期以降の事業環境認識に基づき
 前回予想（2020年8月19日）から上方修正。

(単位：百万円)	2021年2月期 前回予想	2021年2月期 今回予想	増減比（額）	増減比（率）
売上高	79,000	82,000	+3,000	+3.8%
営業利益 (対売上高比率)	1,500 (1.8%)	3,000 (3.6%)	+1,500 (+1.8)	+100.0%
経常利益 (対売上高比率)	2,000 (2.5%)	3,500 (4.2%)	+1,500 (+1.7)	+75.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (対売上高比率)	1,500 (1.9%)	3,000 (3.6%)	+1,500 (+1.7)	+100.0%

配当予想

(単位：円)	第2四半期末	期末	年間	連結配当性向
2020年2月期	10	10	20	30.9%
2021年2月期予想	10	10	20	21.0%

トピックス

「FURUNOを知ってほしくて」つい！こんなCMつくりました

フルノは創業以来、“**みえないものをみる**”を事業テーマに、船舶用レーダーや無線通信機器、GPS受信機など、社会に役立つさまざまな商品・サービスをグローバルに提供してきました。しかし、それら商品は日常生活で目に触れる機会が少ないことから、もっと「フルノ」を身近に感じてもらいたく、企業CMを制作しました。

本企業CMは、「商品編」「福利厚生編」「最先端技術編」「グローバル編」「ストークス編」の5つで構成し、フルノグループの事業やブランドを、親しみをもってご覧いただけるよう作りました。

企業CMは当社ウェブサイトでの公開をはじめ、まずは地域の皆さまに身近に感じていただきたく、本社最寄り駅の阪急西宮北口駅構内『にきたワイドビジョン』で放映※しました。

(※放映期間：2020年8月3日～8月9日、9月21日～10月4日)



漁業者応援サイト「全国漁港めぐり市」をはじめました

新型コロナウイルス感染拡大により、各業界にさまざまな影響が及んでいます。水産業界では、漁業者の方々が苦勞して獲られた海産物が行き場を失い、大変苦慮されていると聞きます。

水産業界が危機的状況に陥っている中、舶用事業に携わる当社にも何かできないかと考え、全国に営業所を展開する当社ネットワークを活かし、当社とお付き合いのある漁業者の皆さまとここで扱われる海産物をご紹介しますウェブサイト「**全国漁港めぐり市**」を立ち上げました。

南から北まで、特定の地域でしか獲れない珍しい魚や水産加工食品などもあるため、食卓の幅が広げられるとしてお勧めしています。

「全国漁港めぐり市」は、以下のURLからご覧いただけます。

<https://www.furuno.com/special/jp/meguriichi/>



補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2020年2月29日現在



社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年(昭和26年)
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
従業員(連結)	2,926 名
売上高(連結)	83,066 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所市場第一部

I R 情報サイト⇒ <https://www.furuno.co.jp/ir/>

製品情報サイト⇒ <https://www.furuno.com/>

企業ブランドサイト⇒ <https://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

安全安心・快適、 人と環境に優しい社会・航海の実現

